

2022 年度 「心臓弁膜症啓発冊子作成事業」 公募要領

2023 年 1 月吉日

一般社団法人日本循環器協会

1. 事業の概要

人口の高齢化に伴い、大動脈弁狭窄症をはじめとした心臓弁膜症患者は徐々に増加することが知られており、我が国の心臓弁膜症有病者数は 75 歳以上で 200 万人を超えると予測されている。心臓弁膜症患者の約半数は健康診断や人間ドックで心雑音を指摘されているにもかかわらず、自覚症状が軽微であることや疾患に対する理解不足を主因として当初は医療機関を受診しなかった患者が半数近くに上る。徐々に重症化し心不全の原疾患となる本症の早期診断、早期治療においては、本症を正しく理解し適切なタイミングで医療機関を受診することが不可欠である。

本事業では、一般向けの心臓弁膜症疾患啓発冊子を作成し、特に本症の早期診断につながる聴診所見を健診等で指摘された方に早期の医療機関受診を勧奨し、心不全の進展抑制に寄与することを目標にする。

2. 公募事業

公募事業名： 「一般向け心臓弁膜症啓発冊子作成事業」

新規採択件数： 各 0~2 件

患者・家族、一般人の方が疾患を理解する上で必要な情報が掲載された冊子の共同企画、制作、運用など

3. 応募資格者

本事業の応募資格者は、以下の要件を満たす個人、あるいは法人・団体とする。

- (1) 医療従事者あるいは医療産業事業者、またはそれに準ずる産業従事者。
- (2) (1)の活動を支援する法人(NPO・財団法人など)

4. 応募にあたっての留意事項

- (1) 応募は 1 団体（個人）1 応募とする。複数名もしくは複数の法人・団体からの共同での応募を歓迎する。
- (2) 本事業の審査には事業内容そのものに加え、以下の点が含まれる
 1. 事業が採択された際、適切な実施体制を構築し一定期間継続可能であるかどうか。
 2. 日本循環器協会における外部団体・個人との連携の基準および該当業界団体におけるプロモーションコード等からの逸脱がないか。

3. 提案事業内容自体に特定の薬剤や医療機器および疾患の中のごく限られた病態などに偏りがなく、応募趣旨を反映した公共性の高いものであるかどうか。
- (3) 採択後は企画段階から日本循環器協会のワーキンググループおよび協会が推薦した個人・団体とともに共同で事業を推進すること。
- (4) 必要に応じて日本循環器協会よりヒアリングを実施する場合がある。
- (5) 審査にあたっては日本循環器協会の会員および賛助会員からの応募を優先する場合がある。

5. 応募手続き

申請書は募集案内ページよりダウンロードし、記入後は PDF ファイルとしてメールに添付して提出すること。

受付期間：2023年2月1日～2023年2月15日

書類提出先：jcircassocsecr@gmail.com

6. 選考の方法

本協会の担当ワーキンググループにおいて審査・選考し、2023年3月上旬に決定予定。

7. 採否の通知

採否決定後、事務局から申請者あてにメールにて採否を通知する。

8. 問い合わせ先

日本循環器協会東大事務局 担当：原田睦生

E-mail: jcircassocsecr@gmail.com

〒113-8655 東京都文京区本郷7丁目3-1